

公立藤岡総合病院

# 地域医療 連携だより

病院の理念  
患者本位の医療

## 基本方針

- ・患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
- ・地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。
- ・急性期病院として関係機関と連携し、地域医療の充実に目指します。
- ・地域がん診療拠点病院として、機能の充実強化に努めます。
- ・臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。

## 「23年度のスタートに向けて」



病院長 鈴木 忠

3月11日の東北太平洋沖地震と史上類をみない大津波および福島原子力発電所事故による被害はあまりに甚大で、全国各地からの救援活動にもかかわらず3週間を経た今も被災者の方々の過酷な状況を強いられている状況がテレビで映し出され、その復興支援は遅々としている感があります。犠牲者の方々のご冥福を祈るとともに悲嘆にくれる被災者の方々には慰めの言葉もありません。

一日も早い復興をお祈りいたします。当院も微力ながらすでに被災地から患者さんを受け入れ、看護師派遣に加え医療支援チームを継続して派遣する予定となっています。

このような想像を超えた大災害とそれに伴う電力不足は日本にとって戦後最大の危機ともいえます。このたびの大震災において、困難の中でいち早く行動を起こした被災地の消防隊、行政、医療関係者の献身的な働きとその限界を目の当たりにして、私たちは藤岡多野地域の災害時における救急医療体制のあり方をあらためて再検討する必要があります。地域の基幹病院・災害拠点病院としての当院の責務を果たすためには、地域の医師会・消防・行政等関係諸機関一体となった取り組みが必要です。いまこそ当事者として関わるもの同士が連携し、情報を共有し地域としての具体的な対策を考える必要があります。

さて、当地域は震災の直接被害は少なく、平穏の中で医師20名をはじめとして51名の新入職員を迎え今年度をスタートすることができました。今年度は計画されていた救急医療のツールとして地域医療再生基金による西毛地域の公立病院同士の画像・情報ネットワークの本格稼働に加え、MRIの整備も予定されております。当院はこれらの機器を最大限に活用して、4疾病5事業にたいして地域性を活かしつつ柔軟に病病および病診連携を推進し、利用者の立場にたった真の意味での医療資源を活かした地域完結型医療の実現にむけて取りくんでいきます。それには地域の医療機関および関係機関の皆様方との意思疎通のある連携が必須です。皆様方と情報を共有し一方通行とならぬよう職員一同心がけますので、よろしく願いいたします。



## 循環器内科のご紹介



救急センター統括部長  
井上 雅浩

平成4年に心臓カテーテル検査室ができ、急性心筋梗塞や狭心症に対するカテーテル治療をはじめ、循環器内科領域に対する診療の多くを当院で完結できるようになりました。当科に求められる診療の大きな柱として救急診療が上げられますが、特に急性心筋梗塞では発症早期の再灌流療法が重要です。当院の医療圏内に、心臓カテーテル検査室が24時間機能している病院は他に無く、CCU (HCU) のベッドを常に確保し、いつでも受け入れができるよう対応しています。地域の先生方、救急隊員、住民の方々から信頼していただけるよう、今後も努力していきたいと思っております。

1. **スタッフ** 常勤のスタッフは8名。他、数人のパート医師での診療体制です。

### 外来センター 循環器内科診療予定表

(平成23年4月現在)

月		火		水		木		金	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
植田	須賀	井上 間渕	井上 飯島	高松 吉村	飯島	鈴木 飯島 植田 須賀 山岸	鈴木	高松 山岸	飯島 間渕

### 2. 業務の現況

当科では、急性期・慢性期を含め広く循環器領域の疾患に対応可能です。特に狭心症に対する冠動脈カテーテルでの診断や治療に力を入れています。また、カテーテル検査に代わりCTによる冠動脈病変の評価システムが軌道に乗り、低侵襲で診断される症例も増加しております。冠動脈バイパス術などの心臓血管外科治療を要する場合や不整脈に対する特殊治療であるカテーテルアブレーション・植え込み型除細動器・両室ペーシングが必要な場合には、主に群馬県立心臓血管センター・伊勢崎市民病院・群馬大学医学部附属病院と連携をとって診療しています。

(平成21年度実績)

冠動脈CT	432例	ペースメーカー 新規植え込み	32例
冠動脈造影検査	486例	末梢血管形成術	25例
心筋シンチ	129例	急性心筋梗塞	63例
冠動脈カテーテル治療	328例	心不全	174例

## 地域医療連携課より

日頃、地域の医療機関及び福祉施設の皆様方には、当院の地域医療連携業務にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

先の計画停電の関係で診療及び検査予約をお受けできない状況で大変ご迷惑をおかけしております。今後予約後に多少変更等調整させていただく等あると思っておりますが予約を受けさせていただきます。本年度もよろしく願いいたします。

地域医療連携統括

甲賀 英明(こうが ひであき)

課長

土屋 和子(つちや かずこ)

〈地域連携:診療・検査予約等担当〉

副看護師長兼グループリーダー

横坂 政彦(よこさか まさひこ)

〈相談員〉

柚木 礼子(ゆき くれいこ) 荒井 頼道(あらい よりみち)

青木 雅代(あおき まさよ)

〈外来センター担当相談員〉

柳井 紀道(やなぎい のりみち)

〈がん相談支援センター担当相談員〉

岩井 隆子(いわい たかこ)



# 平成23年度 診療部のご紹介

平成23年4月1日現在

診療科	氏名	診療科	氏名	診療科	氏名
腎臓内科 (腎臓・膠原病・リウマチ)	塚田 義人	小児科	深澤 信博	眼科	石原 克彦
	太田 史絵		川嶋 伸明	麻酔科	日野 百穂
	月田真祐子		相馬 洋紀		牛込 嘉美
	茂木 伸介		江原 佳史		田口さゆり
血液内科	神保 貴宏	外科	堀越 隆伸		金井 真樹
	外山耕太郎		石崎 政利	救急センター	荒井 賢一
	田原 研一		設楽 芳範	泌尿器科	武井 智幸
	小林 宣彦		森永 暢浩	岡本 亘平	
総合内科	河合 弘進	整形外科	谷 賢実	皮膚科	嶋岡 正利
内科(糖尿)	加藤 典弘		矢島 俊樹	心療内科	五十嵐 孝
呼吸器内科	塚越 正章		安藤 裕之	病理	吉田 孝友
	中川 純一		小林 力	リハビリテーション科	清水 透
	神戸 将彦	最上 恭至	健診センター	飯島 徹	
循環器内科	鈴木 忠	原 圭吾		臨床研修医	田村 勝
	井上 雅浩	萩原 明彦			竹内 季雄
	間淵由紀夫	小野 秀樹			宮地 那実
	植田 哲也	近藤 尚行	友松 佑介		
	高松 寛人	久保井卓郎	萩原 慶		
	須賀 俊博	山口 蔵人	江原 玄		
	吉村 裕子	越 浩美	木村 隼人		
消化器内科	秋谷 寿一	脳神経外科	甲賀 英明	岡庭 隼	
	壁谷 建志		黒崎みのり	藍原 和史	
神経内科	柳澤 孝之		山口 玲	産婦人科	吉田 光典
		遠藤 究	遠藤 究		
		佐藤 達也	佐藤 達也		

## 「盛会だった地域医療連携懇話会」 地域医療連携課長 土屋 和子

去る3月1日に、藤岡商工会議所を会場として地域医療連携懇話会が、1部地域医療連携パス「大腿骨・脳卒中・5大がんの地域連携パスの現状」についての報告紹介とそれに引き続き2部懇親会が開かれました。大腿骨・脳卒中の地域連携パスについては、パスを使用しての実績報告と、今後の課題として、回復期から在宅に戻るとき、かかりつけ医や居宅介護支援センターとの連携が必要との報告がありました。5大がんについては、連携医療機関との間で、群馬県統一の地域連携パスを使用して連携が始まります。5大がんについては循環型の地域連携パスになりますので、がん診療ネットワーク会議参加医療機関（藤岡多野医師会・本庄市児玉郡医師他39医療機関）と、がん診療の質の向上をはかり、切れ目なく医療が提供できるよう連携を構築していきたいとの話でした。2部については、乾杯の後壇上にてお一人1分間の自己紹介を全員の方にさせていただき懇親を深めることができました。



3月1日 地域医療連携懇話会